

学校だより

9月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成二十九年九月一日

二学期もよろしくお願ひします

校長 加納 一好

長い夏休みが終わり、学校は再び子供たちの元気な声に包まれています。

今朝は、夏休みの自由研究を大事そうに抱えて登校する子供の姿が多く見られました。昨年、子供たちの作品を見て、その出来に驚きました。創意・工夫・努力が伝わってくる作品がたくさんありました。今年はどうでしょうか。楽しみです。子供だけで地道に研究したり作ったりした作品もあれば、ご家庭の協力が感じられる作品もありました。宿題は自分の力ですることが基本ですが、夏休みの自由研究に限ってはご家庭のアドバイスや協力があっても私はいいと思います。そうした作品を見ていると親子の会話が聞こえてくるようです。親子で一緒にどこかへ出かけたり、調べたり、ものをつくったりすることは、よい思い出になると思います。それこそ夏休みだからこそできることです。

九月四日(月)から八日(金)まで夏休み作品展を開催します。各教室と廊下に作品を展示します。ご来校の上、ぜひご覧ください。ご自分のお子さんの学級だけでなく、他学級や他学年もご覧ください。楽しいですよ。

さて、長い夏休みには様々なことがあります。まずは、五年生の夏季学園です。八月十八日(金)から二十日(日)までの三日間、箱根へ行ってきました。記録的な長雨で心配していたのですが、雨は降ったものの全日程をほぼ予定通り実施することができました。病院へ行くような大きなけがをした子や体調を崩した子もなく、自然の中で集団行動のルールを学ぶとともに友達との楽しい思い出をたくさんつくりました。

合唱団は今年もがんばっています。NHK全国学校音楽コンクールの東京都予選、本選ともに金賞をいただき、九月三日(日)に大宮ソニックシティで開催される関東甲信越ブロック大会に出場します。昨年はナイトミュージアムでしたが、今年はジャガーが会場を疾駆しています。

夏休みの課題にしても、夏季学園にしても、合唱団にしても、感じるのは保護者の皆様の力です。二学期も音楽会やもちつきをはじめご協力いただくことが多々ありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

地震の備え

生活指導主任 花井 拓也

昨年の四月に、熊本県と大分県を中心とした、九州地方における大きな地震がありました。地震の恐ろしさを改めて感じるとともに、私達はいつ、どこで地震が起きても、落ち着いて行動できるよう、日ごろから備えをしておくべきであることを再認識しました。

学校では、毎年四月の避難訓練時に、各教室からの避難経路を、児童と一緒に確認しています。また、避難訓練を毎月実施し、地震が発生した際には、どのように自分の身を守るのか、どのように避難するのかということを指導しています。月によって地震の想定を変えており、地震によって使えない階段がある想定や、津波の恐れがある想定等があります。教員も児童も、毎月行っている様々な想定避難訓練に真剣に取り組み、実際に地震が起きても、冷静な判断で行動できるようにしたいです。

本日、九月一日は防災の日です。事前にお知らせしました通り、引き渡し訓練を行います。

本日の帰宅後は、ぜひお子様と一緒に、「東京防災」などを活用し、地域の危険性を把握したり、いざというときの家族の集合場所や連絡をとる方法を話し合ったりしていただきたいと思います。

オリエンテーリング

特別活動部 坂 愛

七月十八日に、オリエンテーリングが行われました。これは、プラチナタイムの取り組みの一つとして今年から始めたものです。六年生をリーダーに縦割りの異学年集団で取り組むものです。どんなチェックポイントがあると楽しい会になるかを考え、十八のコーナーを設けました。チェックポイントを決める話し合いでは、グループが協力して取り組める内容であるかを何度も確認しました。

当日は、自分たちで考えたチェックポイントをスタートに様々な活動に取り組みました。どのコーナーでも、上の学年が下の学年を気遣いながら楽しく活動する姿が見られました。

終わりの会では、活動の振り返りを班ごとに行いました。楽しかったことやもっとこうすればよかったことなど、思い思いに感想を出し合いました。全体の会では、班長が班の振り返りを発表し、全体で感想を共有することができました。全校の前で自分から挙手して発表する六年生の姿が他学年のお手本となっていました。

一学期の終わりに、所属感や連帯感、仲間意識を深められたよい活動となりました。来年は、さらに発展させた活動を計画しています。それに向けて、二学期からのプラチナタイムでさらに力を伸ばしていきたいと思えます。

